

平成 28 年度

第一回教区寺院セミナーアンケート まとめ

1. 「禅林亀鑑句集」の講義を聞いて如何でしたか。

提唱形式ということで、短時間で内容の濃いお話を聞くことができ、とてもためになりました。

禅僧として、プロの宗教家としての大切な話を聞いた。他僧堂の老師の講座を聞けるのは貴重なので、今後もあると良いと思います。

提唱形式でしたので、僧堂の懐かしい感じがしました。自分自身を奮い立たせて、精進していかなければならないと改めて思いました。

2. 「梵唄実習」を受けて如何でしたか。

あたり、節、というのは一度では、上手くはならないが実習することに意味があるのでまた受けたいと思います。

迅誦のように普段使うお経の実習は大変ためになりました。

本山式の講習を受けることで、自己流の修正ができるのでためになりました。

3. 「法式実習」を受けて如何でしたか。

津葬についての実習ということで、視覚的に実際におこなってみての研修なので非常にためになりました。

所作について実習できたことはとても有意義に感じました。

地域で所作については違いがありますが、今後部内でも今回学んだことを有効に活用していきたいと思いました。

4. 「住職研修会」の内容をどう感じられましたか。

定期的にこのような機会があることで、初心に戻って、僧侶というものを見つめることのできる大変良い場だと思いました。

やはり、梵唄と法式を再確認できるいい機会であると感じました。

もっと実習や実践形式を増やすと、より良いものになるのではないかと思います。

5. 今後の教区寺院セミナーでどのような内容を希望されますか。

ご意見をお聞かせ下さい。

寺院と檀信徒のより良い関係の築きかた、今後時代とともに変わっていくであろうこの関係をどうしていくか皆で考えたいです。

やはり寺院の会計関係、透明性かつ安定的な経営状態を保つことも寺院の責務であると思うのでそこを学びたいと思います。

梵唄、法式なども非常に大切であると思います。ただ、今後寺院が変わりゆく現代社会の中でどう生き残っていくか、宗教団体として我々臨済宗がどういう役割を世の中で担っていくかを考える機会があればいいと思います。